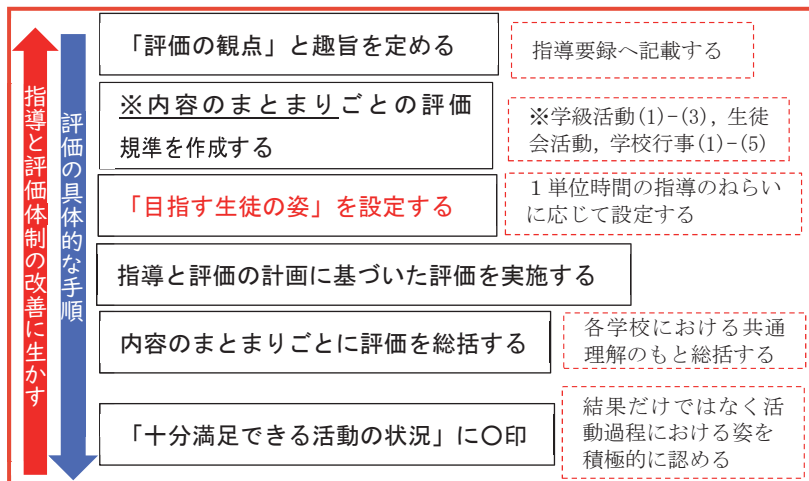


生徒の自発的・自治的な活動を見取り 社会参画に向けた資質・能力を育む

ポイント ① 「目指す生徒の姿」に基づいて多面的・総合的に見取る

特別活動の評価において最も大切なことは、生徒一人一人のよさや可能性を生徒の学習過程から積極的に認めるようにするとともに、育成を目指す資質・能力がどのように成長しているかということについて、**各個人の活動状況を基に多面的・総合的に評価**することです。そのためには、右図に示した手順に即して、学校全体として組織的・計画的に評価を進めていく必要があります。特に**1単位時間の授業**において



では、内容のまとめりごとの評価規準を踏まえ、指導のねらいに応じた「**目指す生徒の姿**」を設定し、活動において表出された生徒の姿を見取ります。

ポイント ② 生徒にとって、切実感のある議題を取り上げる

新学習指導要領では、特に中学校において学級活動(1)の指導の充実を通して自治的能力や積極的に社会参画する力を育てることができるよう、従来14項目あった(2), (3)の内容を8項目に整理しています。各学校には、生徒自身が身近な学級・学校生活の中から課題を見だし、話し合い活動によってよりよい解決に向けた合意形成を図る、**自発的・自治的な学級活動(1)の充実**が求められています。そこで大切になるのが議題の選定です。年間指導計画においては教師の見通しのもと「予想される議題例」を設定し、実際の議題については生徒が自分事として捉えることができるよう、切実感のある議題を学級全員で決定することが基本です。そのために、提案カード(▲資料1)や学級アンケートを活用して日常的に生徒自身の参画意識の涵養を図るとともに、運営委員会・学年生徒会等により議題を決定する組織づくりと仕組みづくりを進めましょう。

提案カード・相談カード	月	日	名前
提案します。 () 個人から () 班から			
相談します。 () 個人から () クラスのこと			
提案したいこと			
() みんなでやってみたい。		() みんなでつくってみたい。	
() みんなで解決したい。		() お願したい。	
<提案内容・提案理由>			

▲ 資料 1

ポイント ③ 生徒自身が話し合い活動の価値を実感できる評価にする

自発的・自治的な活動によって得られた新たな認識や合意形成は、生徒相互の信頼関係を深めるとともに、生徒の自己有用感や社会参画への意欲の高まりにつながります。そこで、教師は適切にその活動を見取り、不断に生徒にフィードバックを行うことで、生徒自身が集団の中の自分のよさや話し合い活動の価値を実感できるようにします。そのために、場面に応じて次のような評価を組み合わせましょう。

- ① 「目指す生徒の姿」に基づいた評価…積み重ねにより、主に通知表や指導要録に生かす。
- ② ワークシートによる自己評価…①を補完するとともに、主に授業改善及び学習改善に生かす。
- ③ 話し合い活動の終末等における生徒自身の相互評価…主に学習改善に生かす。
- ④ 教師の対話的関わりによる形成的評価…主に学習改善に生かす。

3学年（学級活動（1））

「目指す合唱発表会を確認し、
それに向けた取組を考える」

特別活動実践事例

学級活動（1）学級や学校における生活づくりへの
参画-ア学級や学校における生活上の諸問題の解決

- 最後の合唱発表会をどのような会にしたいのかを考え、明確にする。その後、現在の学級の課題を踏まえ、その実現に向けた取組を話し合い、合意形成を行う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

指導と評価の計画（※主な評価場面を抜粋）

過程	主な生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿【観点】 (評価方法) ポイント 1
事前	学園祭の振り返りと合唱発表会に向けたアンケート調査に回答する。	生徒自身のアンケート結果から議題と提案理由を決めることができるよう、アンケート作成段階から合唱実行委員による主体的な取組を支援する。 ポイント 2	◎アンケートに回答することで、学園祭での取組を振り返ったり、合唱発表会への意欲をもったりして、学習への見通しをもとうとしている。【主体的態度】(アンケート、観察)
本時	1 今日の学級会の議題と提案理由を確認する。 2 話し合い活動をする。 ①今の学級のよさと課題について ②目指す合唱発表会について ③目指す合唱発表会に向けた取組について 3 決定事項を確認する。 4 学級会の振り返り 重要! をする。	<ul style="list-style-type: none"> 合唱実行委員の議題への思いを学級全員が理解し、全員で考えていくべき議題であることを確認できるようにする。 合唱実行委員が話し合いを進める。教師は生徒の主体的活動の支援に当たり、合意形成の意向付けにかかわる助言は行わない。 全員で取り組むことについてキャリア・パスポートへ記入できるようにする。 自己評価に対話的にかかわる。 注意	◎今の学級のよさや課題を見だし、それを踏まえてよりよい学級や合唱発表会について考えている。【思考・判断・表現】(発言、観察、 キャリア・パスポート) チェック ◎目指す学級の姿や合唱発表会の実現に向けて具体的な取組を考え、根拠を明確にしながらかたり、意見の相違について考えたりしながら合意形成に関わっている。【思考・判断・表現】(発言、観察、 キャリア・パスポート) ポイント 3
事後	学級での決定を基に、個人目標を決め、キャリア・パスポートを用いて取組の振り返りを行う。	学級の決定と個人目標に基づいた振り返りを行い、今後の課題や自他のよさ、自分らしさ等について多面的に気付くことができるように対話的に関わる。 ポイント 3	◎合唱発表会の成果と課題を振り返り、学級や個人のよさに気付いたり、今後の活動や自己の成長に生かそうとしたりしている。【主体的態度】(キャリア・パスポート、観察)

授業改善のポイント

- ①生徒の自発的・自治的な活動とするため、事前の活動（休み時間）の中で合唱実行委員と教師による打ち合わせを行い、話し合いのねらいや流れの確認、役割分担について助言した。
- ②キャリア・パスポートを活用し、一連の取組や生徒の気付き等を蓄積した。それを「目指す生徒の姿」による評価や教師の対話的な関わりに生かして、自己のよさへの気付きを促した。

